

漁海況情報

第506号(平成26年8月13日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

・7月の地先水温は鶴岡市加茂(水産試験場)が「やや高い」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)が「かなり高い」でした。

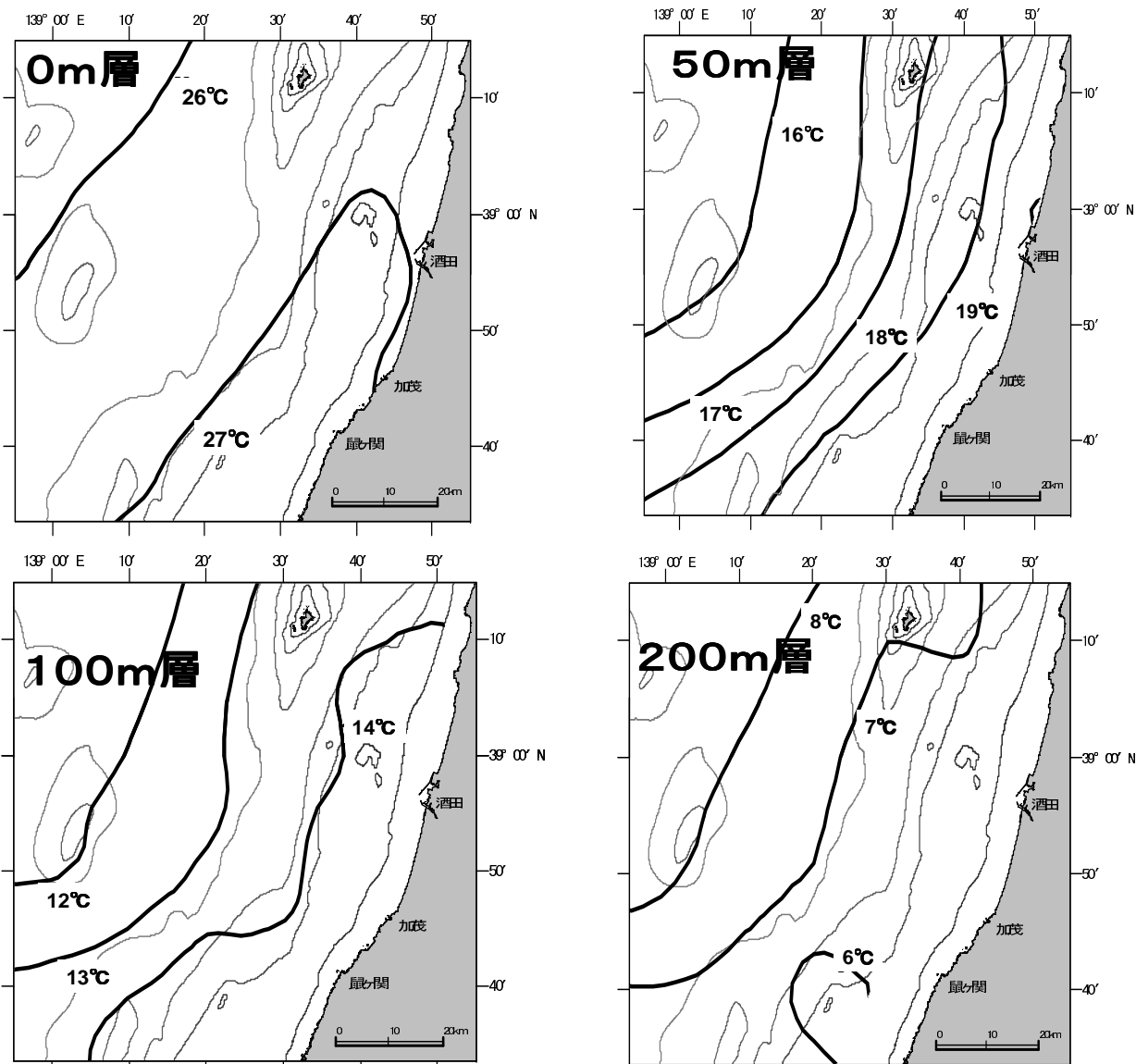
・独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所は、右ページのとおり、7月18日に「平成26年度第2回日本海スルメイカ長期漁況予報」を、8月4日に「平成26年度大型クラゲ情報第2報」を発表しました。

地先平均水温(7月)

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	24.0	+0.5	+1.2	やや高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	23.6	-0.2	+1.4	かなり高い

水温分布図(8月上旬)

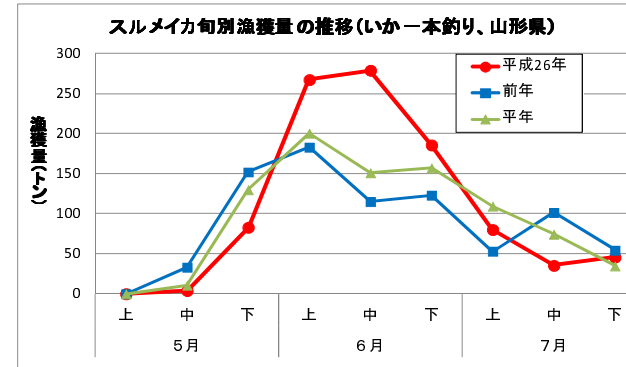


* 日本海海況予測システム(JADE)の8月4日再現データを利用。

各種漁業情報

1 沿岸スルメイカ漁の状況

- ・5~7月までの本県の漁獲状況は、延べ1,152隻(前年比166%、平年比112%)、重量963トン(前年比160%、平年比117%)となっています。
- ・5月の漁期始めは平年を下回ったものの、6月以降は漁獲量が伸びました。7月に入ってから平年を再び下回りました。



2 第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報

(独)水産研究総合センターは、7月18日に、「平成26年度 第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報」を発表しました。

- ・今後の見通し(平成26年8月~12月)
対象海域: 日本海(道北・道央、道南・津軽、本州北部日本海、西部日本海、沖合域)
対象漁業: 主にいか釣り漁業・小型いか釣り
漁業対象魚群: 主に秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む

- (1) 来遊量: 前年および近年平均を下回る。
- (2) 漁期・漁場: 道北・道央、道南・津軽では、8~9月は高水温によって沖合化する。
・本州日本海では、近年同様に好漁場が形成されにくい。
・沖合域においては、8月は大和堆周辺、9~10月は北海道沖に漁場が形成される。
- (3) 魚体の大きさ: 近年平均並み

3 大型クラゲ情報

(独)水産研究総合センターは、8月4日に、「平成26年度大型クラゲ情報 第2報」を発表しました。

- ・黄海(7月19日~22日)、対馬海峡西水道(7月29日)での目視調査の結果
大型クラゲの出現量は前年同期の結果より少ない。
- ・対馬周辺海域の目視・曳航カメラ調査の結果(7月19日~25日)
対馬周辺海域における出現量(平均密度) 0.00027個体/100m²
昨年同期の結果(0.57個体/100m²)
- ・大型クラゲによる漁業被害は夏季から秋季にかけて発生します。現時点の分布水準は昨年同期の水準より低いと考えられます。一方、日本漁船による目視情報や韓国側の情報で東シナ海北部において大型クラゲの出現が確認されていること、また対馬海峡では8月に入ってから出現量の増加が過去に確認されたこともありますので、引き続き大型クラゲの出現状況をモニタリングし、出現状況に関する情報提供を行ってまいります。

7月の漁況

- 延べ操業隻数は3,340隻で前年比86%で、総漁獲量は655トンで前年並みでした。
- 採貝藻漁業の漁獲量は45トンで前年比52%でした。アワビ、イギス、モズクは前年を上回り、イワガキ、サザエ、アラメは前年を下回りました。
- 定置網漁業の漁獲量は17トンで前年比63%でした。ウマヅラは前年を上回り、アジとトビウオは前年を下回りました。
- はえなわ漁業の漁獲量は15トンで前年比65%でした。タイ類、ブリ類、マグロ類、クロソイすべての魚種が前年を下回りました。
- その他の漁業では、船凍いか釣漁業のスルメイカとさし網漁業のクルマエビは前年を上回り、いか一本釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のネジリ(ウシノシタ類)、サザエ、キス、あまだいさし網漁業のアマダイ、一本釣漁業のブリ類、ばいかご漁業のバイ類は前年を下回りました。

* 前年比は平成21～25年までの平均値と比較した値です。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ業隻数	248	441	776	222	418	318	226	691	3,340	113%	86%
漁獲量	20,513	48,703	437,921	57,198	27,054	23,447	5,619	34,922	655,376	148%	105%
前年比	80%	130%	197%	81%	107%	109%	108%	102%	148%		
前年比	64%	90%	141%	68%	64%	77%	60%	56%	105%		

採貝藻漁業

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	176	177	125	66	104	126	97	112	983	110%	62%
イワガキ	16,725		13,405		125	61		889	31,205	74%	46%
アワビ	574			4	54	97	54	44	825	171%	169%
サザエ		2,250	40	212	196	235	103	500	3,535	72%	51%
アラメ		517							517	53%	28%
イギス					53			208	260	383%	131%
モズク				334	1,059	1,325	1,025	206	3,949	286%	112%
その他	199	2,583	350	317	661	162	19	309	4,600		
計	17,497	5,349	13,795	866	2,147	1,880	1,201	2,155	44,891	80%	52%
前年比	75%	60%	96%	141%	110%	90%	69%	70%	80%		
前年比	66%	55%	83%	15%	28%	31%	35%	19%	52%		

その他の漁業

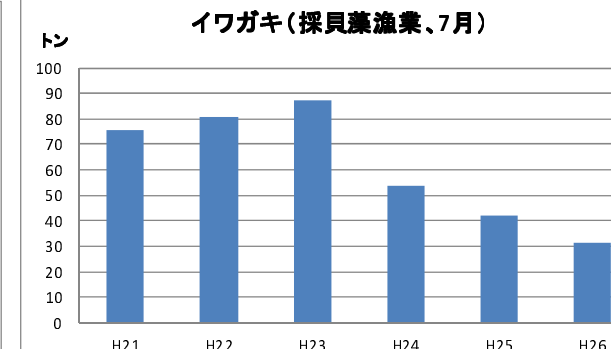
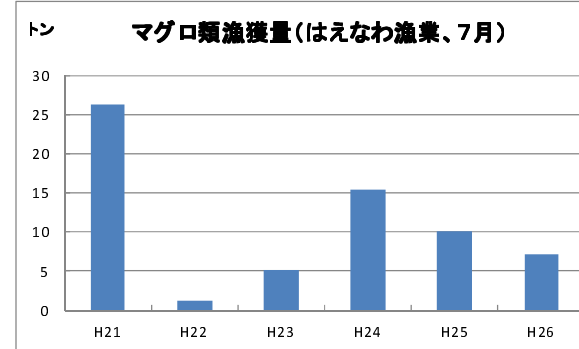
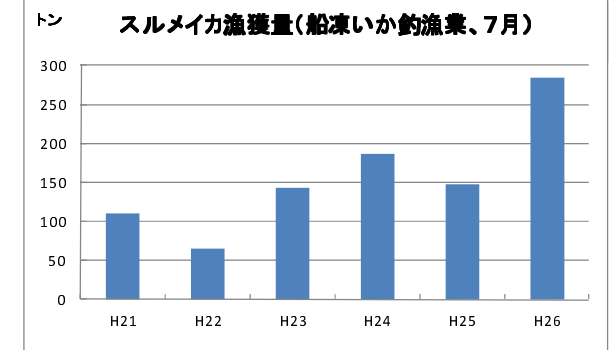
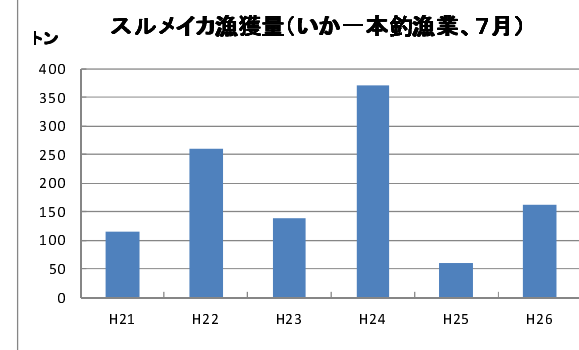
漁業種類	いか一本釣漁業	船凍いか釣漁業	さし網漁業				あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣漁業	ばいかご漁業
			ネジリ	クルマエビ	サザエ	キス				
延べ操業隻数	294	6	601				78	156	331	33
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ネジリ	クルマエビ	サザエ	キス	アマダイ	タイ類	ブリ類	バイ類
漁獲量	161,405	285,072	751	455	3,415	307	2,347	25,521	535	12,868
前年比	266%	192%	83%	371%	113%	27%	76%	80%	68%	124%
前年比	86%	218%	37%	184%	77%	23%	72%	91%	67%	84%

定置網漁業

支所	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	14	37	19	10	80	108%	93%
ブリ類	378	3,305	2,536	202	6,421	147%	93%
アジ	138	424	410	373	1,346	36%	15%
ウマヅラ	0	150	236	843	1,230	360%	124%
トビウオ	1,259	1,357	764	224	3,603	107%	64%
その他	599	1,834	1,652	569	4,654		
計	2,375	7,069	5,599	2,211	17,254	122%	63%
前年比	185%	105%	141%	106%	122%		
前年比	84%	68%	80%	31%	63%		

はえなわ漁業

支所	飛島	酒田	豊浦	温海	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	14	24	9	112	136	16	311	100%	79%
タイ類	15	781	57	691	1,904	128	3,576	219%	57%
ブリ類		53		212	593	18	876	161%	46%
マグロ類	149	745	233	2,265	3,081	624	7,097	70%	61%
クロソイ	471			13	22		506	123%	80%
その他	460	34	136	870	764	268	2,532		
計	1,095	1,613	426	4,050	6,365	1,039	14,587	103%	65%
前年比	29%	133%	42%	133%	153%	103%	103%		
前年比	39%	36%	27%	72%	100%	69%	65%		



最上丸の調査予定(8月中旬～9月上旬)

- 底びき網漁業漁期前調査、重要魚種の加入量調査、海洋観測、上架整備
- 休漁期間中の底びき網漁場状況を調査し、情報提供します。
- ヒラメ、カレイ類等の重要な底魚類の資源動向を明らかにするため、稚魚や幼魚の生息状況を調査します。
- 海洋観測を行います。

